

表 17の循環型経済に沿った行動が環境と気候に与える影響

(単位：%)

循環型経済に沿った行動	各項目への影響		
	気候変動	生物多様性の影響	大気汚染
自動車への依存を減らす	△ 3.3	△ 0.2	△ 2.6
木造建築への移行	△ 0.1	0.2	0.0
平均延床面積を削減する	△ 1.8	△ 0.3	△ 4.7
資源消費の少ない食料システム	△ 4.5	△ 10.3	△ 1.4
リサイクルと再生原材料の利用を拡大する	△ 0.2	△ 2.3	0.4
消耗品を再利用・共有する	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.6
電気・電子機器の製品寿命を延ばす	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2
繊維製品のメンテナンスと修理を改善する	△ 0.6	△ 1.1	△ 0.3
新製品の軽量化	△ 1.9	△ 0.8	△ 2.4
ライドシェアを推進する	△ 3.9	△ 0.3	△ 3.1
カーシェアリングを推進する	△ 0.9	△ 0.3	△ 1.1
新車の軽量化	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.5
自動車の製品寿命を延ばす	△ 1.3	△ 0.4	△ 1.7
鉱業部門における資源効率の向上	△ 0.2	0.0	△ 0.1
建築部材の再利用	△ 2.4	△ 0.7	△ 3.2
建物の耐用年数を延ばす	△ 3.5	△ 0.9	△ 7.0
食品廃棄物を最小限に抑える	△ 0.9	△ 2.8	△ 0.4

(注1) 太字は削減効果が高い上位5項目。

(注2) 数値は、現在の経済システムと比較して、17の循環型経済に沿った行動によって、気候変動、生物多様性、大気汚染に対する負荷（フットプリント）をどの程度削減できるかを示す。マイナスは「削減（目的に資する）」を示す。

(出所) EEA